

谷崎潤一郎に会いに行こう！

9月13日（火）、甲南大学プレミア・プロジェクト2ndの交付を得た「日本文化の多面的理解に基づくグローバルキャリア人の育成」の第二弾の企画「谷崎潤一郎に会いに行こう！」が、「芦屋市谷崎潤一郎記念館」において実施されました。学生の申込みは14名。引率教員はプロジェクトリーダー田中貴子教授（文学部日本語日本文学科）、A・Martin教授（同英語英米文学科）、塚本章子教授（同日本語日本文学科）、廣川晶輝教授（同）。当日は、記念館学芸員永井敦子氏による丁寧な講義を拝聴した後、永井氏の案内で秋の特別展「〈谷崎源氏〉三つの変奏」を観覧しました。谷崎潤一郎が『源氏物語』を三度にもわたって現代語訳した際の谷崎自身の書き入れ原稿は、見応え十分！作品に対する作家の執念を学生と教員は感じ取りました！記念館事務局長浪川知子氏とプロジェクトリーダー田中貴子教授は旧知の間柄であり、学芸員永井敦子氏は塚本章子教授が課外活動においてゼミの学生を毎年記念館に案内する際に説明をお願いしている方です。社会に向けて開かれた本学教員のこのような貴重な人脈によって、阪神間に花開いた谷崎潤一郎文学を実感できた、本当に充実した企画となりました。

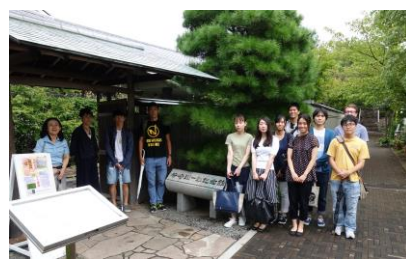
（文責：当プロジェクト事務局長 廣川晶輝）



（講義風景）



（講義風景。谷崎潤一郎訳源氏物語の初版も見せてもらえました）



（充実した企画でした！）

